

恒さんが行く!



【表紙写真】

2023年が皆様にとって、良い1年になりますよう、御朱印に祈りを込めました。親切運動は今年創立60周年を迎えます。これからもよろしくお願ひします。

表紙になるかも?

あなたの写真で全国に温もりを届けてみませんか

『小さな親切』誌では、下記のテーマの写真を募集。お写真は本誌やWebサイトに掲載するほか表紙に使用させていただく場合があります。採用された方には、粗品をプレゼントいたします!

- 親切な風景
- あなたの街の素敵な風景
- あなたのほっとする場所

〈申込方法〉

- お写真は紙焼きではなく、下記の方法でデータでお送りください。

【メール添付】 skm1963@kindness.jp

【DVDなどを郵送】

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-4
公益社団法人「小さな親切」運動本部 写真募集係

〈注意事項など〉

- 写真のサイズ：(スマホの場合) 800KB以上
(デジタルカメラの場合) 3,456 × 2,304ピクセル以上
- 人物がうつっている場合は、肖像権の侵害がないようご配慮ください。
- 他のコンテストなどへの応募作品はご遠慮ください。

「小さな親切」誌は、季刊発行

春号・5月、夏号・8月、秋号・11月、新春号・1月の予定です

2023年1月25日発行 通巻529号

編集・発行人 鈴木恒夫

発行所 公益社団法人「小さな親切」運動本部
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-4
TEL.03-3263-2866 FAX.03-3263-3838
<https://www.kindness.jp/>

印刷所 広研印刷株式会社

©無断転載禁止 落丁、乱丁はおとりかえいたします。

昨年5月末、神奈川県議会に第115代議長が誕生した。地方議員にとって、当選を重ねてきた大きな目標は議長の座に就くこと。地方の繁栄に尽力してきた実績と自らの誇りが何よりの宝物となる。

新たに議長になったのは、敷田博昭氏(54歳)。横浜市都筑区の選挙区に住む当選5回生。出身は広島県山県郡北広島町で、理髪店の次男坊。学生時代から社会福祉問題に関心を持ち、大学は東京に出て駿河台大学生に。この学生時代に人脈を広げ、衆議院議員だった私の新横浜事務所にボランティアとして参加するようになった。地盤、看板、カバン(資金)がゼロからのスタートだった私は、自分たちが「ハッピー連」と名付けた学生たちの活動に支えられ、敷田氏は「しきちゃん」の愛称で熱心な活動をしてくれた。

大学を出た「しきちゃん」は、やがて公設の議員秘書もつとめてくれて約10年。見事な仕事ぶりと人柄が、地元の横浜市議会の二議員に惚れこまれ、県議会に初当選(平成15年)。病気で若くして亡くなった妹への思いがいっそう社会福祉問題への取り組みを後押ししたのか、例えば、障がいを感じさせない見事な書を書き続けている書家・金澤翔子さんと、その母・泰子さんとの交流も世間から高い評価を受けている。

その敷田氏の議長就任報告会が、去る11月21日に新横浜のホテルで盛大に開かれ、かつて私の支持者だった方々をはじめ、数多くの参加者が会場を埋め尽くした。「祝賀会」としないところが、いかにも「しきちゃん」流。自民党県連会長の小泉進次郎代議士、私の後継者・鈴木けいすけ代議士らとともに代表発起人となった私も当然顔を出したが、ほんとうに感動したのは、「しきちゃん」の母親・和子さんが、とても85歳とは思えない美しい和服姿で広島から駆けつけられたことだった。

私は母上から、広島名産のカキを贈っていただくなど、それなりのお付き合いを重ねてはいたものの、お会いするのは初めて。ご長男一家も新幹線でご一緒にお見えになったが、母上の控えめなお姿がいかにも「しきちゃん」の鏡のよう。

神奈川県下の政治家や行政の方々それぞれ祝辞を述べられた後、壇上に金澤翔子さんが母・泰子さんとともに登場。物干しのような長い筆を振るって席上揮毫のパフォーマンスをお見せくださった。気合の入った筆使いを終え、壇上の正面に掲げられた見事な書は「愛」の大文字。会場全体が歓声と拍手で湧き上がった見事な一字。

席が遠く離れていたのも、「しきちゃん」の母上がどのような表情でご覧になられたかは存じ上げないが、成長を遂げた次男坊への思いが、改めて「愛」の文字とともに胸を打ったことでしょう。お母上、ほんとうにおめでとうございます!!

“しきちゃん”と母の「愛」

代表 鈴木恒夫